

登録日 2016/8/5

登録番号 H&N010

腫瘍名 頭頸部がん

申請科 耳鼻咽喉科

### 投与スケジュール

CDDP+RT			21日毎 X 3コース		
			1コース	2コース	
			1 2 3 4 5 6	22 ... (day)	
①	ホスアプレピタント 生理食塩水	150 mg 500 mL	点滴 60分	↓	↓
②	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓
③	20%マンニトール	300 mL	点滴 60分	↓	↓
④	シスプラチン 生理食塩水	100 mg/m <sup>2</sup> 500 mL	点滴 120分	↓	↓
⑤	フィジオ140	500 mL	点滴 2時間	↓	↓
⑥	フィジオ140 (Day2の10時までキープして投与)	1000 mL	点滴 16時間	↓	↓
⑦	フィジオ140 デキサート プリンペラン (1日4本の輸液を24時間でキープして投与)	2000 mL 6.6 mg 20 mg	点滴 24時間	↓ ↓ ↓	
⑧	フィジオ140 プリンペラン (1日4本の輸液を24時間でキープして投与)	2000 mL 20 mg	点滴 24時間		↓ ↓
⑨	Radiation	2 Gy/day			総線量66~70Gy:6~7週実施(月~金で照射)

### 注意事項

#### 【適応】

- ・切除不能局所進行頭頸部がん、咽頭温存希望例、術後再発ハイリスク例  
(臨床試験結果の適応は、中・下咽頭、喉頭、口腔がんが対象)

#### 【投与基準】国内臨床試験の情報を引用(参考基準)

- ・投与実施基準: 白血球 > 3500/mm<sup>2</sup>、血小板 > 10万/mm<sup>2</sup>、クレアチニンクリアランス > 70mL/min
- ・投与延期基準: 好中球 < 1000/mm<sup>2</sup>、または血小板 7.5万/mm<sup>2</sup>
- ・FN、Grade4の血液毒性で次回用量を100⇒80mg/m<sup>2</sup>、80⇒60mg/m<sup>2</sup>へ減量を考慮する。
- ・Grade3以上の神経毒性、聴覚毒性で投与中止。Grade2以上では60mg/m<sup>2</sup>

#### 【その他】

- ・放射線: 術後補助は66Gy,根治療法は70Gy程度実施する。放射線皮膚炎に注意する。
- ・腎機能や尿量に応じて、輸液または利尿剤を追加します。

### 参考文献

Adelstein DJ et al. An intergroup phase III comparison of standard radiation therapy and two schedules of concurrent chemoradiotherapy in patients with unresectable squamous cell head and neck cancer. J Clin Oncol. 2003, 21, 92-8.  
Naomi Kiyota et al, Phase II feasibility trial of adjuvant chemoradiotherapy with 3-weekly cisplatin for Japanese patients with post-operative high-risk squamous cell carcinoma of the head and neck, Jpn J Clin Oncol 2012, 42, 927-933